

身近な自然の観察

～校庭・公園での自然観察～



概要				
時期	真夏日以外ならいつでも			
時間	1～2時間程度			
場所	校庭、公園、里山、海岸など			
対象	幼・保	小学生	中学生	大人
	◎	◎	○	○
指導員派遣人数	10～20人あたり1人程度を派遣			
教科との関連	小1 生活科、小2 生活科、小3 理科、小4 理科			



↑土の中には何があるかな



↑葉っぱの裏に字がかけたよ

内容	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や公園で、普段は気に留めないような自然を観察し、実は身の回りには様々な生物や植物が存在していることを知る。 野外での活動を通して、四季の移り変わりを感じる力や、自然環境に目を留める能力や感受性を養う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 校庭等の自然(草木、花、昆虫、鳥等)の観察をする。(自然が多い場所と少ない場所では観察内容が違うため、その場所に応じた観察を行う。) 学習内容に合わせて「アクティビティ」を行うことができる。 <p>【アクティビティの例】植物の葉を使った葉っぱじゃんけん、フィールドビンゴ(生物や植物を探すビンゴゲーム)など。※指導員と要相談</p>
準備するもの	<p>主催者・参加者 水筒、タオル、ビニール袋、あれば虫取り網・虫かご</p> <p>活動時の服装(帽子、長袖、長ズボン、タオル、歩き慣れた靴等)</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> 事前に指導員との打合せと現場の下見を行います。打合せでは、この観察会のねらいや教科との関連などについて指導員に伝えて下さい。

プログラムの流れ

導入	<ul style="list-style-type: none"> 観察時に気を付けなければならないこと、危険な植物や生き物についての説明。 各自が、どんな場所にどのような自然があるかを想像する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 五感(見る、聞く、触る、匂いをかぐ、味わう)を使って観察する。 発見した生き物や植物、感じたことなどを思い思いに表現する。
共有	<ul style="list-style-type: none"> 見つけたものをみんなで共有する。
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 観察した場所に色々な自然があることの認識を共有する。 いつもは見過ごしている自然があることを意識させる。

発展	<ul style="list-style-type: none"> 違う季節に同じ場所での観察、同じ季節に違う場所での観察をして結果を比較する。
参考図書	<p>静岡市いきもの散策マップ(静岡市環境創造課作成)</p>